

特別支援クラスで「プラモデル制作」授業

ランチルームの前に「磐田プラモデル制作会」のプラモデルを飾っています。それを見た特別支援クラスの生徒と先生が「授業でプラモデルを作れたらいいな」と呟いたことから、プラモデルの授業が実現しました。



← 磐田のプラモデル会社(株)メタルサイエンスの「DIYロボ」のキットを使って、自由に作るようになりました。

普段からプラモデルが好きな子も多く、授業当日は興味津々。

最初に、制作会の高橋さんとメタルサイエンスの長谷さんからプラモデルの概要や作り方の流れをお聞きして、製作開始！ニッパーを使ってプレートから外し、大きなパーツ、細かいパーツを見ながら、色々組合せを考えていきます。



どんな形にするか？ 試行錯誤、プラモデルの得意な子が、初心者に教えてあげる場面もありました。このキットのすごい所は、プラスチックの飲料容器も活用



して作ることができること！使っても使わなくても、何個使っても良い、と制限のないキットでオリジナリティを発揮することができました。組み立てた後、黒く塗装をもらい、その上から好きな色を筆で塗って完成しました。



(生徒の声) ・さいしょ何ができるか心配だったけど、うまくできてうれしかった。・みんなのことをてつだうことができてうれしかった。・だれも作ったことがないものを作れてよかった。ヤクルトのかんでプラモデルが作れることがすごかった！静岡県のもけいが徳川家康と関係があるのを聞いてすごいと思った。この授業ははじめての体験だったので、技術の授業にいかせるといいなと思った。